



安全データシート

発行年月日：2014年4月24日

改訂年月日：2024年9月10日

改訂番号： 1

1. 化学品および会社情報

項目	内容
製品名	N4
含有成分	混合物
推奨用途	粘度計および密度測定機器の校正・性能確認用標準液
供給者（国内責任事業者）	株式会社エスティーエム 〒350-0436 埼玉県入間郡毛呂山町川角502-6 電話番号：049-276-1060 FAX：049-276-1059
製造者（海外）	Cannon Instrument Company 2139 High Tech Rd., State College, PA 16803-1733, USA 電話番号：(814) 353-8000 もしくは (800) 676-6232
緊急連絡先	(国内) 株式会社エスティーエム (海外) +1 (800) 255-3924 Domestic CHEM-TEL Inc. +1 (813) 248-0585 Overseas CHEM-TEL Inc.

2. 危険有害性の要約

危険有害性の種類	区分 (GHS / JIS)	H文言
誤えん有害性	区分1	H304：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
皮膚腐食性/刺激性	区分2	H315：皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分2	H319：強い眼刺激
急性毒性（吸入）	区分4	H332：吸入すると有害

内容	表示
GHS 絵表示	

注意喚起語 危険

P文言

P261：粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。

P264：取扱後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。

P280：保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P301 + P310：【誤飲】直ちに医師または中毒情報センターに連絡すること。

P312：気分が悪い時は医師または中毒情報センターに連絡すること。

P331：無理に吐かせないこと。

混合物の23%は、急性吸入毒性（粉じん / ミスト）が未知である成分で構成されている。

本製品を一般消費者向けに供給する場合、子どもによる誤開封防止機構が必要である。本製品を一般消費者向けに供給する場合、触知警告表示が必要である。

その他の危険有害性

- 皮膚に接触すると有害のおそれ

3. 組成及び成分情報

混合物

成分名	CAS番号	含有率 (質量%)	化審法	安衛法	備考
1-デセンジマー 水素化物	68649-11-6	60 - 80	既存	非該当	・ 誤えん有害性 区分1 (H304) ・ 急性毒性 (吸入) 区分4 (H332)
テトラデカン	629-59-4	10 - 30	既存	非該当	・ 皮膚腐食性 / 刺激性 区分2 (H315) ・ 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 区分2 (H319) ・ 誤えん有害性 区分1 (H304) EC番号：211-096-0

急性毒性推定値

成分名	経口 LD50 mg/kg	経皮 LD50 mg/kg	吸入LC50-4時間 粉じん / ミスト mg/L	吸入LC50 - 4 時間 - 蒸気- mg/L	吸入LC50 - 4 時間 -ガス- ppm
1-デセンジマー水素化物 CAS番号：68649-11-6	5000	3000	0.9 1.4	データなし	データなし
テトラデカン CAS番号：629-59-4	5000	5000	データなし	データなし	データなし

本製品には、0.1%以上の濃度で高懸念物質（SVHC）の候補物質は含まれない。（規則（EC）No. 1907/2006（REACH）第59条参照）

4. 応急措置

項目	応急処置
一般事項	直ちに医師に本安全データシートを提示し、医師の診察を受けること。
吸入	誤えんにより、重篤な肺障害を引き起こす可能性あり。呼吸が止まっている場合は人工呼吸を行い、直ちに医師の診察を受けること。新鮮な空気のところへ移すこと。皮膚との直接接触を避けてください。口対口人工呼吸を行う場合は、バリア器具を使用すること。呼吸困難時は、訓練を受けた者が酸素を投与すること。遅発性の肺水腫が発生する可能性あり。
皮膚接触	最低15分、石けんと水で洗浄すること。症状が現れた場合は医師の診察を受けること。
眼へのばく露	最低15分、大量の水でまぶたの裏まで十分に洗浄すること。装着していて、かつ容易に取り外せる場合は、コンタクトレンズを取り外すこと。洗い続けること。眼を大きく開いて洗眼を続けること。症状が現れた場合は医師の診察を受けること。ばく露した箇所は擦らないこと。刺激が生じ、持続する場合は、医師の診察を受けること。
飲み込み	【誤えん】無理に吐かせないこと。誤えんの危険性あり。飲み込むと肺に入り、肺障害を引き起こす可能性あり。吐いた場合は、頭部を腰より低くして気道への侵入を防ぐこと。口をすすぐこと。意識のない者には経口で何も与えないこと。直ちに医師の診察を受けること。

応急措置を行う者の自己防護	医療従事者が関係する物質を認識できるようにすること。自己を保護し、汚染の拡大を防止するための予防措置を講じること。皮膚との直接接触を避けること。皮膚、眼または衣類との接触を避けること。人工呼吸を行う場合は、感染防止用のバリアを使用すること。必要に応じて個人用保護具を使用すること。蒸気またはミストを吸入しないこと。詳細については第8章を参照すること。
症状	呼吸困難。咳および/または喘鳴。めまい。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれ。灼熱感。
ばく露による影響	第11章を参照すること。
医師への注意事項	誤えんの危険性があるため、追加の有害物質が存在し、必要と判断される場合を除き、催吐または胃洗浄を行わないこと。

5. 火災時の措置

- **使用可能な消火剤** 周囲状況に応じた消火剤（粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、水スプレーなど）を使用すること。
- **使用してはならない消火剤** 特に指定なし。
- **特有の危険性** 特に報告されていない。
- **危険有害な燃焼生成物** 一酸化炭素。二酸化炭素（CO₂）。硫黄酸化物。刺激性および有毒なガスや蒸気が発生するおそれあり。
- **消火者保護具** 消火活動を行う者は、自給式呼吸器および完全な防火用防護服を着用すること。個人用保護具を使用すること。消火後も十分な時間が経過するまで、容器に大量の水をかけて冷却すること。

6. 漏出時の措置

人体への保護措置

十分な換気を確保すること。皮膚、眼及び衣類との接触を避けること。必要に応じて個人用保護具を使用すること。
蒸気およびミストを吸わないこと。その他の保護措置については第7章および第8章を参照すること。

環境保護措置

火災が消火した後も十分な時間が経過するまで、大量の水をかけて容器を冷却すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

安全に実施できる場合は、さらなる漏出又は流出を防止すること。
せき止めること。不活性な吸収材に吸収させること。回収し、適切な表示をした容器に移すこと。環境関連法規を遵守し、汚染された物体及び区域を十分に清掃すること。

その他の情報

第8章および第13章を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い時の注意：**十分な換気を確保すること。換気が不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用してください。適切な産業衛生及び安全慣行に従って取り扱うこと。皮膚、眼及び衣類との接触を避けること。個人用保護具を使用すること。
- 衛生管理：**本製品使用中は、飲食及び喫煙をしないこと。汚染された服は脱ぎ、再利用前に洗うこと。蒸気やミストを吸わないこと。
- 保管条件：**容器を密閉し、乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。施錠して保管すること。子供の手の届かないところに保管すること。他の物質から離して保管すること。

【参考】保管区分（TRGS 510 ドイツ）：LGK 10

本製品の特定された用途については、第1.2項を参照すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度（参考値）

成分名	ドイツ DFG	
1-デセンジマー水素化物 CAS番号：68649-11-6	TWA: 5 mg/m ³ ピーク：20 mg/m ³	
成分名	ルーマニア	ノルウェー
テトラデカン CAS番号：629-59-4	TWA: 700 mg/m ³ STEL: 1000 mg/m ³	TWA: 40 ppm TWA: 275 mg/m ³ STEL: 60 ppm STEL: 343.75 mg/m ³

生物学的職業ばく露限界値：供給された状態の本製品には、各地域の規制当局によって生物学的許容限界が定められている有害物質は含まれない。

導出無影響レベル（DNEL） - 作業者

成分名	経口	経皮	吸入
1-デセンジマー水素化物 CAS番号：68649-11-6	-	-	60 mg/m ³ [4：全身的な健康影響] [7：短時間ばく露]

導出無影響レベル（DNEL） - 一般

成分名	経口	経皮	吸入
1-デセンジマー水素化物 CAS番号：68649-11-6	-	-	50 mg/m ³ [4：全身的な健康影響] [7：短時間ばく露]

技術的対策

シャワー設備、洗眼設備、局所 / 全体換気設備設置すること。

個人用保護具

用途	保護具内容
眼・顔の保護	サイドシールド付き保護眼鏡またはゴーグル（JIS T 8147:2026）
手の保護	適切な保護手袋を着用すること。
皮膚・身体	適切な保護具を着用すること。長袖の衣類を着用すること。
呼吸用保護具	通常の使用条件では、呼吸用保護具は必要ない。ばく露限界値を超える場合、又は刺激が生じた場合には、換気及び退避が必要となることがある。（JIS T 8116）

環境管理

排気・排水は環境規制に適合させること。

9. 物理的及び化学性質

項目	記載内容
外観 / 状態	無色液体
匂い	微かな炭化水素臭
可燃性	非常に燃えやすい
引火点	> 99℃（密閉式）
動粘度	4 cSt (40℃)
水への溶解度	水に不溶
溶解性	溶剤に可溶
相対密度	0.79 (15℃)
その他の情報	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常使用・保管条件下では反応なし。
危険反応の可能性：	通常の使用条件下では反応なし。
爆発データ	なし。
避けるべき条件	過度の加熱。混触危険物質。
混触危険物質：	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物。硫黄酸化物。アルデヒド類。熱分解により、刺激性および有毒なガスや蒸気が発生することがある。

11. 有害性情報

ばく露経路に関する情報

項目	内容
吸入	当該物質または混合物について、具体的な試験データなし。吸入すると、重篤な肺障害を引き起こす可能性あり。肺水腫を引き起こす可能性あり(肺水腫は致命的となるおそれ)。呼吸器への刺激を引き起こす可能性あり。
眼への接触	当該物質または混合物について、具体的な試験データなし。眼に接触すると、刺激を引き起こす可能性あり。発赤、かゆみ及び疼痛を引き起こすおそれがある。
皮膚への接触	当該物質または混合物について、具体的な試験データなし。皮膚に接触すると有害なおそれ。反復曝露により、皮膚の乾燥またはひび割れを引き起こす可能性あり。
経口	当該物質または混合物について、具体的な試験データなし。飲み込んだ場合、気道への誤えんのおそれ。飲み込むと肺障害を引き起こす可能性あり。誤えんにより、肺水腫および肺炎を引き起こす可能性あり。飲み込んだものが気道に入ると、致命的となるおそれ。飲み込むと、胃腸への刺激、悪心、嘔吐及び下痢を引き起こすおそれがある。

物理的、化学的および毒性学的特性に関連する症状

呼吸困難。咳および／または喘鳴。めまい。発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

急性毒性：飲み込むと有害

毒性に関する数値的指標(GHS文書の3.1章に基づいて算出)

ATE混合物（経口）	5,000 mg/kg 以上
ATE混合物（経皮）	2,000 mg/kg 以上
ATE混合物（吸入：粉じん / ミスト）	1.5 mg/L 以上

急性毒性（未知）

混合物の23%は、急性吸入毒性（粉じん / ミスト）が未知の成分で構成されている。

成分名	経口 LD50	経皮 LD50	吸入 LC50
1-デセンジマー水素化物	> 5000 mg/kg（ラット）	> 3000 mg/kg（ウサギ）	= 0.9 mg/L（ラット） 4時間 = 1.4 mg/L（ラット） 4時間
テトラデカン	> 5000 mg/kg（ラット）	> 5000 mg/kg（ウサギ）	-

皮膚腐食性 / 刺激性	成分について入手可能なデータに基づき分類。皮膚刺激を引き起こす。
重篤な眼の損傷性 / 眼刺激性	成分について入手可能なデータに基づき分類。重篤な眼刺激を引き起こす。
呼吸器感作性 / 皮膚感作性	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。
生殖細胞変異原性	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。
発がん性	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。
生殖毒性	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。
特定標的臓器毒性 STOT (単回ばく露)	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。
特定標的臓器毒性 STOT (反復ばく露)	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。
吸引性呼吸器有害性	飲み込んで気道に侵入すると、致命的となるおそれがある。
内分泌かく乱作用	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。

12. 環境影響情報

生態毒性：本製品による環境への影響については、十分な調査が行われていない。

残留性および分解性：データなし。

成分情報

成分名	分配係数
1-デセンジマー水素化物	6.5
テトラデカン	7.2

PBTおよびvPvB評価の結果	本製品は、PBT / vPvB 基準に該当しない。
土壌中の移動性	データなし。
内分泌かく乱作用	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。
PMTまたはvPvM特性の結果	入手可能なデータに基づく、分類基準を満たさない。

13：廃棄上の注意

- 本製品や未使用残渣は、家庭廃棄せず、法令に基づき都道府県等の許可を得た産業廃棄物処理業者へ委託すること。
- 汚染された容器や包装は再利用せず、内容物を除去し密閉の上、専門業者に廃棄を依頼すること。
- 漏洩や消火に使用された液体は、下水道、河川、土壌へ流さず、必ず隔離・回収後に処理すること。
- リサイクルが困難な場合は、適正な処理を実施し、処理結果が法令に適合していることを確認すること。
- 廃棄物コードは用途に応じて使用者が決定すること。

14：輸送上の注意

項目	内容
UN番号	該当なし (国際輸送規制上は非危険物)
輸送上の名称	該当なし
危険物クラス	該当なし
包装等級	該当なし
海上汚染性	該当なし
適用規則	航空輸送 (IATA)、海上輸送 (IMDG)、鉄道輸送 (RID)、陸上輸送 (ADR) および内陸水路輸送 (ADN) のいずれも規制対象外
国内陸上輸送	消防法：危険物 第4類 第三石油類 (非水溶性液体) 危険等級Ⅲ
国内海上輸送	船舶安全法に従う。
国内航空輸送	航空法に従う。

15. 適用法令

法令名	該当性	備考(管理番号や分類等)
労働安全衛生法 (安衛法)	非該当	-
毒物及び劇物取締法 (毒劇法)	非該当	-
特化則 / 有機則 (有機溶剤中毒予防規則)	非該当	-
PRTR 法 (化管法)	非該当	-
消防法 (危険物規制)	該当	第4類 引火性液体 第三石油類 非水溶性液体
化学物質審査規制法 (化審法)	該当	1-デセンジマー水素化物：既存化学物質、MITI No. 6-1109 テトラデカン：既存化学物質、MITI No. 2-10

16. その他の情報

【Hコード】

H304 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H315 - 皮膚刺激

H319 - 強い眼刺激

H332 - 吸入すると有害

略語：

SVHC：認可対象となる高懸念物質

PBT：難分解性・生物蓄積性・毒性を有する物質

vPvB：極めて難分解性が高く、かつ極めて生物蓄積性が高い物質

STOT：特定標的臓器毒性

ATE：急性毒性推定値

LC50：半数致死濃度

LD50：半数致死量

発行日：2014年4月24日

改訂日：2024年9月10日

参照元SDS（英語版）：Revision Date 2024-09-10

• 参考文献：

- ・ 欧州CLP規則（EC 1272/2008）
- ・ JIS Z 7252:2025（化学品の分類に基づく表示及び文書による警告）
- ・ JIS Z 7253: 2025（安全データシートの作成方法）
- ・ 経済産業省 GHS分類ガイダンス
- ・ 各成分のSDS（製造者公表値）

免責事項：

本SDSは、現時点で入手可能な情報と知見に基づいて作成したものであり、安全性を完全に保証するものではありません。本資料は、化学品の適正な取扱い、安全対策、法令遵守のための参考資料であり、特定の使用条件における適合性や性能を保証するものではありません。使用者は、適用される法規制および使用条件に従って、本製品を安全に取り扱う責任を負います。

安全データシート終わり